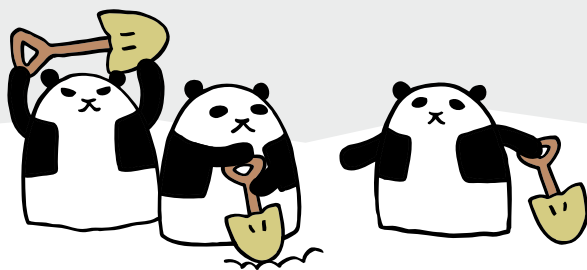


読者投稿コーナーだよ。
ここ掘れかんかん!
投稿は seikan@igaku-shoin.co.jp まで。



新型コロナウイルスに覆われた世界は

やいばの上を 歩くよう

北村庄子
当事者



家族で東京旅行した昨年
11月が懐かしい

いま、猛威を振っている新型コロナウイルスが収束したら、逢いたい人たちがたくさんいます。

やっとこさ取れた、フミヤ君ときゃりーぱみゅぱみゅのライブチケットも中止になり、楽しみもなく、仕事とコンビニとスーパーマーケット往復する毎日。時々精神科病院。そこさえも入口で体温を計るのでコロナを思い出します。

緊急事態宣言も発令されて、大好きな梅田にも行かず、野菜や肉や魚を買ってきて朝昼晩料理三昧。いいんですけど、段々と精神的に苦しくなり、会社も休みがち。

靴の物流センターで、障害者枠で9年間働いてきたのですが、百貨店もアウトレットも閉まり、出荷も激減しました。夏は暑いし冬は寒い職場ですが、「きたしょう」と呼ばれながら、私は今の仕事（契約社員）に誇りをもって働いています。

メンタルが弱いことも皆知ってくれていて、私に無茶振りはしません。反対に困っていたら助けてくれます。

ありがたい職場やな〜と日々感謝。昔は仕事がなく、働けなかった自分がありましたので、仕事は楽しいです。週4日勤務で病院通いもできるから、続きます。

2020年は、オリンピックイヤーで、山羊座の私は「大幸運」年と、昨年末から期待していました。それが、こんなことになるなんて……。

通勤電車の中では、マスクをしていないと、ジロジロ見られます。洋裁を習っていた私は、家族の分も手縫いマスクを作りました。マスク買い占めた人、あなたのせいです。

私は、1日一度は死にたい気持ちになります。けれどそんな時は、家族の顔が浮かびます。それで、実行に移すことはないのですが、やいばの上を歩くようです。持病のせいで、針の穴ほども油断したら脚を怪我します。静脈瘤が切れて、大出血します。

医療現場の最前線の方たちは、私よりつらいと思います。

有名なコメディアンの方が、あ〜という間にお亡くなりになったのが、未だに信じられません。ネットニュースを隅まで読みました。この禍々しい疫病で亡くなったら、お葬式もできないのです。死に化粧をしてもらうこともなく、灰になるのです。

太宰治が好きな私は、「死ぬ」ということを甘美に思っていました。だけども違います。新型コロナウイルスでは絶対に死にたくない!という気持ちになりました。

生きて、生きて、生きる! そういう歌がボーカロイド曲にあるんです。この気持ちを、誰かに伝えたい。

コロナが収束したら、逢いたい人がいっぱいいるんです。今の私にできることは、自粛ですね。 **精**